

平成 25 年度 定時総会資料



非営利型一般社団法人 国際コーチ連盟日本支部

2014年9月21日

於 : シビックセンター会議室

非営利型一般社団法人 国際コーチ連盟日本支部 平成25年度定時総会

定時総会 式次第

1. 開会の辞および代表挨拶
2. 議長および議事録署名人選出
3. 議案審議
4. 議長退任挨拶
5. 閉会の辞

〔定時総会 添付資料目次〕

平成25年度定時総会開催にあたって

第1号議案 第1期活動報告ならびに会計報告

- 活動報告
- 会計報告
- 監査報告書

第2号議案 第2期活動計画ならびに収支予算案

- 活動計画
- 収支予算（案）

第3号議案 定款改定の件（住所変更）

第4号議案 定款変更の件（書面の表現の明確化）

平成 25 年度定時総会開催にあたって

非営利型一般社団法人 国際コーチ連盟日本支部

代表理事 林 健太郎

会員各位・諸先輩のご協力とご支援のお陰をもちまして、1期の事業を初期の予定通り無事完了することが出来ました。皆様に心より感謝し御礼申し上げます。

非営利型一般社団法人 国際コーチ連盟日本支部（以下 ICF ジャパンと略称します）は、国際コーチ連盟の支部として国際コーチ連盟の運営趣旨に賛同し地域におけるコーチングの普及およびコーチの交流と相互支援を目的に設立されました。

今後も ICF ジャパンの活動趣旨に基づき、良いところは継続し必要な新しさを取り入れる、保守と革新のバランスを取りつつ運営して参ります。

平成 25 年度におきましては、「Meet & Greet」「Coaching in English Group」「コア・コンピテンシー勉強会」など、新生 ICF ジャパンの認知を深めるべくイベントの企画・実施に積極的に取り組みました。また国際コーチ連盟の資格取得の制度変更に伴う説明会の実施など、より世界に開かれたコーチングを目指して活動を行って参りました。

第 2 期である平成 26 年度につきましては、引き続き国際コーチ連盟本部との関係強化を行い、世界のコーチングとのパイプ役としての活動を行っていきます。また、国内のコーチ養成機関やコーチング団体との交流の強化と、コーチング人口の裾野拡大に力点を置いて活動して参ります。

具体的には、国際コーチ連盟の会長及び CEO を始めとするボードメンバーを招いてのイベントの実施、海外ゲストを招聘しての勉強会の開催、コーチング団体との共催勉強会の開催、情報発信のチャンネル拡大による広報活動の強化を行って参ります。

ICF ジャパンは、皆様もご存知の通りボランティア活動で成り立っております。会員各位に於かれましては、皆様のお持ちのスキル・リソースを当団体運営にご提供願えればと思っております。皆様方の積極的ご参加をお待ちして居ります。

最後に、コーチングの普及発展と皆様方の益々のご活躍を願って、ご挨拶とさせていただきます。

第1号議案 第1期活動報告ならびに会計報告

(1) 第1期活動報告

【2013年度 ICFJ 活動一覧 (イベント関連)】

2013年9月23日(金)(コーチングフェスタ2013セッション参加)「世界的なガイドライン「ICF コア・コンピテンシー」を新しい日本語訳で学ぶ!

2013年11月29日(金) Meet and Greet 銀座「ラ・ボエーム」

2014年2月27日(木) 第1回 ICF ジャパン サロン～朝会～「おもてなしの心とコーチング」
スピーカー: 新堀 進 (国際コーチ連盟日本支部顧問)

2014年3月13日(木) ICFJ Coaching in English Group Inaugural Meeting

2014年3月28日(金)「システミック・アプローチの活用～クライアントのより深い気づきに繋がる新しい視点～」スピーカー: Giuseppe Meli 氏 (MCC) & Jacopo Rivoltella 氏 (PCC)

2014年4月5日(土)「コーチングフェスタをめぐるリーダーシップ～大坪タカ氏を迎えて」
スピーカー: 大坪タカ (国際コーチ連盟日本支部顧問)

2014年4月25日(金) 第2回 ICF ジャパンサロン～朝会～「コーチングを教えるということ」
スピーカー: 森 英樹 (国際コーチ連盟日本支部顧問)

2014年5月26日(木) ICFJ Coaching in English Group May Meeting: “What is Coaching?”

2014年6月11日(水) ICF ジャパン特別講演「スマイルジャパン、ソチへの道のり～日本女子アイスホッケーチームを五輪出場に導いたメンタルコーチが成功の秘訣を語る～」スピーカー: 山家正尚 (PCC)

2014年6月28日(土) 第3回 ICF ジャパンサロン～朝会～「コーチの卵・ひよこコーチのための知恵袋」スピーカー: 紫藤由美子 (国際コーチ連盟日本支部副理事長、PCC)

2014年7月10日(木)、他2回 「オンライン ICF コア・コンピテンシー勉強会」(日本コーチ協会神奈川支部共催) スピーカー: 原口佳典 (国際コーチ連盟日本支部理事)

2014年7月24日(木) ICFJ Coaching in English Group July Meeting: “Developing your Coaching Style

(2) 貸借対照表 (2014年7月31日)

貸借対照表

平成26年7月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	533,736		
仮払金	10,000		
流動資産合計	543,736		543,736
2 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産合計	0		0
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0		0
固定資産合計	0		0
資 産 合 計	543,736		543,736
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	52,025		52,025
未払法人税等	70,000		70,000
流動負債合計	122,025		122,025
2 固定負債			
固定負債合計	0		0
負 債 合 計	122,025		122,025
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0		0
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	421,711	0	421,711
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	421,711	0	421,711
負債及び正味財産合計	543,736	0	543,736

(3) 正味財産増減計算書 (2013年8月2日～2014年7月31日)

正味財産増減計算書

平成25年8月2日～平成26年7月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	826,000		826,000
② 受取イベント費	569,087		569,087
③ 受取寄付金	86,339		86,339
④ 受取利息	16		16
経常収益計	1,481,442		1,481,442
(2) 経常費用			
① 事業費	549,491		549,491
給与手当	120,000		120,000
業務委託費	149,236		149,236
会場費	186,250		186,250
イベント経費	41,481		41,481
事務用消耗品費	8,053		
支払手数料	23,346		23,346
会議費	8,134		8,134
雑費	12,991		12,991
② 管理費	440,240		440,240
給与手当	120,000		120,000
業務委託費	149,236		149,236
事務用消耗品費	8,053		8,053
租税公課	200		200
旅費交通費	200		
通信費	80		80
支払手数料	23,346		23,346
会議費	8,134		8,134
創立費	118,000		
雑費	12,991		12,991
経常費用計	989,731		989,731
当期経常増減額	491,711		491,711
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		0
当期経常外増減額	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	491,711	0	491,711
法人税、住民税及び事業税	70,000		
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	421,711	0	421,711
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	421,711	0	421,711

監査報告書

平成26年9月14日

一般社団法人 国際コーチ連盟日本支部
代表理事 林 健太郎 殿

監事 小茂田 亮次



私は、一般社団法人 国際コーチ連盟日本支部の平成25年8月2日から平成26年7月31日までの第1期事業年度の業務について監査を実施し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

監事は、一般に認められた監査手続きに従い、事務局から事業の報告を聴取し、業務および財産の状況を調査しました。

また、決算報告書および事業報告書につき検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 決算報告書は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 事業報告書は、一般社団法人 国際コーチ連盟日本支部の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

第2号議案 第2期活動計画ならびに収支予算案

	第二期予算
(1) 経常収益	
① 受取会費	1,820,000
②受取イベント費	800,000
経常収益計	2,620,000
(2) 経常費用	
給与手当	0
業務委託費	600,000
会場費	900,000
イベント経費	600,000
事務用消耗品費	25,000
支払手数料	25,000
会議費	30,000
雑費	20,000
旅費交通費	20,000
通信費	12,000
経常費用計	2,232,000
当期収支差額	388,000

第3号議案 定款変更の件（事務所所在地の変更）

1) 改定の理由

所在地が文京区に変更されたため、事務所住所を東京都文京区に変更する。

2) 改定の内容

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区に置く。

第4号議案 定款変更の件（書面の表現の明確化）

1) 改定の理由及び内容

実情に合わせ、より明快な表現に変更するため、定款中の「書面」を「書面または電磁的方法」に変更する。

なお、該当箇所は

第14条第3項の(2)、第15条第3項、第20条、第21条、第36条第3項の(2)、第37条第4項、第41条の7箇所が該当する。

2) 改定の内容

第14条 3 臨時社員総会は、次のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事会において開催の決議がなされたとき
- (2) 議決権の10分の1以上を有する正会員から、会議の目的である事項及び招集の理由を記載した書面または電磁的方法により、招集の請求が理事にあったとき

第15条 3 社員総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面または電磁的方法をもって、開催日の1週間前までに通知を発しなければならない。

第20条 理事又は正会員が、社員総会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、正会員の全員が書面または電磁的方法により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

第21条 理事が正会員の全員に対して、社員総会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を社員総会に報告することを要しないことについて、正会員の全員が書面または電磁的方法により同意の意思表示をしたときは、その事項の社員総会への報告があったものとみなす。

第36条 3(2) 理事長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面または電磁的方法をもって理事長に招集の請求があったとき。

第37条 4 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面または電磁的方法をもって、開催日の1週間前までに、各理事及び各監事に対して通知しなければならない。

第41条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることができる理事の全員が書面または電磁的方法により同意の意思表示をしたときには、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

以上